

受賞者詳細

京都デジタルアミューズメントアワード大賞（京都府知事賞）

コタケ クリエイト KOTAKE CREATE

- 京都を拠点に活動する個人ゲームクリエイター
- 2023年に個人で開発した『8番出口』は、全世界累計ダウンロード数100万本の突破や、日本ゲーム大賞2024ブレイクスルー賞の受賞等、個人開発作品としての快挙を達成
- 同作の登場以後、「8番ライク」と呼ばれる新ジャンルの確立、『8番出口』の「ユーキャン新語・流行語大賞」ノミネート等、ゲーム分野に留まらないムーブメントを起こしている。

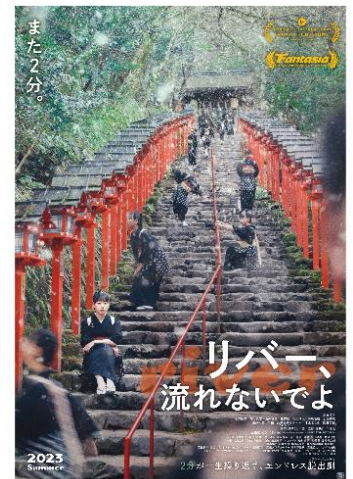


「異変を見つけたら引き返し、見つからなければ進む」というシンプルなゲーム性が評価され、日本ゲーム大賞2024ブレイクスルー賞を受賞。

京都デジタルアミューズメントアワード賞

ヨーロッパ企画 映像制作部

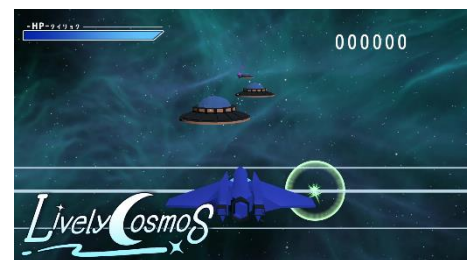
- 同志社大学の演劇サークルで旗揚げした代表・上田誠氏が主宰する、京都を拠点に活動している劇団
- 劇団でありながら、劇公演で培った脚本力・構成力を活かして、長編映画作品や脱出ゲームの企画等、演劇に留まらないエンターテインメント事業を展開している。
- 2023年公開の『リバー、流れないでよ』は、貴船の一部が2分間のタイムループを起こすSFコメディ。劇団らしい工夫を凝らした作品であり、国内外で多数の賞を受賞



2分間のタイムループは、実際に2分丁度の長回し撮影を行い、観客の没入感を高めるなど劇団としての長所を存分に発揮した作品。

はせがわ あやね 長谷川 綾音

- 立命館大学博士課程の大学院生
- 視覚障害者向けの支援機能をソフトウェアに取り入れたゲームについて研究しており、音のみでもプレイに必要な情報が得られる設計のゲーム『Lively Cosmos』を単独で開発
- 中学生や高校生等を対象にインクルーシブデザインについての講演活動も行っており、ゲームを通して障害者と健常者が垣根なく活躍しうる共生社会の実現に貢献している。



『Lively Cosmos』は移動パート、リズムゲームパートのそれぞれのパートにおいて、効果音や読み上げ音声による補助が行われ、視覚障害の有無を問わずプレイできる。